

環境アセスメント学会

2011年度 第10回 大会プログラム

2011年9月30日(金)・10月1日(土) 2日間
於：東京工業大学 すすかけ台キャンパス

目 次

大会スケジュール：プログラム概要	ii
研究報告、シンポジウム等プログラム	iv
大会会場のご案内	xiii

2011年度 第10回大会プログラム

(1) 大会スケジュール：プログラム概要

大会 1日目 (9月30日、金曜日)

午前	9:30 大会受付開始 (2F ロビー) (ポスター発表者は 9:30-9:50 に 3F ラウンジ・ポスター会場の指定場所に掲示して下さい)		
	9:50-10:50 研究報告 セッション 1 (3F 多目的ホール) 「電力事業・風力発電アセス」 (3 題)	セッション 2 (2F 集会室 1) 「自然・生態系 (1)」 (3 題)	セッション 3 (2F 集会室 2) 「予測・評価手法 (1)」 (3 題)
	(休憩 10分)		
	11:00-12:00 研究報告 セッション 4 (3F 多目的ホール) 「参加・学習」 (3 題)	セッション 5 (2F 集会室 1) 「自然・生態系 (2)」 (3 題)	セッション 6 (2F 集会室 2) 「予測・評価手法 (2)」 (3 題)
	12:00- 昼食 (1F・2F 食堂をご利用下さい)		
午後	12:30-13:30 ポスターセッション (3F ラウンジ)		
	13:35-13:45 開会式 (3F 多目的ホール) 開会挨拶 鹿島 茂 (環境アセスメント学会会長・中央大学教授) 「アセス学会 10 周年にあたって」		
	13:45-16:30 一般公開シンポジウム (3F 多目的ホール) 「エネルギー政策選択に向けた戦略的環境アセスメント」 趣旨説明：原科幸彦 (大会実行委員長／学会副会長・東京工業大学大学院教授) パネルディスカッション コーディネーター：原科幸彦 パネリスト：寺西俊一 (一橋大学・教授) 池田こみち (環境総合研究所・副所長) 牛島聡美 (環境弁護士、環境 NGO) 政野淳子 (フリーランスライター) 諏訪亜紀 (国連大学高等研究所・リサーチフェロー) コメンテーター：青山貞一 (大会実行副委員長・東京都市大学教授)		
	16:45-17:35 学会賞表彰・記念講演 (3F 多目的ホール) 奨励賞受賞記念講演：矢代幸太郎 (一般財団法人みなと総合研究財団) 功労賞受賞式 優秀ポスター賞授賞式		
	17:40-19:30 懇親会 (会費 4,000 円) (3F ラウンジ)		

大会 2日目（10月1日、土曜日）

午前	9:30 大会受付開始 (2F ロビー)	
	9:50-10:50 研究報告 セッション 7 (2F 集会室 1) 「制度・政策」 (3 題)	セッション 8 (2F 集会室 2) 「予測・評価手法 (3)」 (3 題)
	(休憩 10分)	
	11:00-12:20 研究報告 セッション 9 (3F 多目的ホール) 「自然・生態系 (3)」 (4 題)	セッション 10 (2F 集会室 1) 「情報公開・コミュニケーション」 (4 題)
		セッション 11 (2F 集会室 2) 「SEA」 (3 題)
	12:20- 昼食 (1F 食堂をご利用下さい)	
午後	13:00-13:50 ワークショップ (2F 集会室 1) 「10周年記念出版ワークショップ」 企画担当：柳 憲一郎	13:00-13:50 ワークショップ (2F 集会室 2) 「環境アセスメント関連図書の管理」 企画担当：浦郷昭子・傘木宏夫
	14:00-16:45 学会 10周年記念シンポジウム (3F 多目的ホール) 「アセス法のこれまでと、これから」 基調講演 島津康男 (名古屋大学名誉教授)「アセス 40年目の危機をどう乗り越える」 浅野直人 (福岡大学教授)「改正環境影響評価法について」 パネルディスカッション モデレーター：柳 憲一郎 (学会副会長・明治大学法科大学院教授) パネリスト：花岡千草 (環境省環境影響評価課課長)「改正の経緯と改正点」 大塚 直 (早稲田大学大学院教授)「改正法に残された課題」 田中 充 (法政大学教授)「基本的事項に関する技術的検討課題」 榎 重善 (横浜市)「地方自治体の取り組み」 コメンテーター：鹿島 茂 (学会会長・中央大学教授) 奥 真美 (首都大学東京教授) 原科 幸彦 (学会副会長・東京工業大学大学院教授)	

(プログラム詳細) 研究報告：大会 1 日目 9 月 3 0 日 (金) 9:50-10:50

セッション 1 「電力事業・風力発電アセス」多目的ホール

座長：塩田正純 ()

副座長：馬場健司 (電力中央研究所)

1	9:50-10:10	電力事業における環境アセスメントの現状と課題ー福島第一原子力発電所と東伊豆風力発電所に着目してー ○石井賢祐、満瀬拓己 (東京都市大学)
2	10:10-10:30	風力発電導入プロセスにおける環境アセスメントおよびコミュニケーションの機能ー兵庫県環境影響評価条例適用の風力発電所を事例としてー ○畦地啓太、錦澤滋雄、原科幸彦 (東京工業大学)
3	10:30-10:50	風力発電の法アセス導入により期待される効果と今後の方向性 ○上田健二、伊藤貴輝、小関ますみ、岸本祥、花岡千草 (環境省)

セッション 2 「自然・生態系 (1)」集会室 1

座長：梶谷修 (株式会社 ポリテック・エイディディ)

副座長：畠瀬頼子 (財団法人自然環境研究センター)

1	9:50-10:10	環境影響評価で必要とされる生物多様性ポテンシャルマップの実践的調査研究 ○西澤まり、西澤正、越智彩子、松林健一、松岡明彦、他 ((社) 日本環境アセスメント協会)
2	10:10-10:30	米国における In-Lieu-Fee プログラムの起源と変遷に関する研究 ○芦朋也、田中章 (東京都市大学)
3	10:30-10:50	BBOP の生物多様性オフセットに関する PCI と日本に与える影響 ○萩谷拓郎、田中章 (東京都市大学)

セッション 3 「予測・評価手法 (1)」集会室 2

座長：田中章 (東京都市大学)

副座長：鷹取敦 (株式会社 環境総合研究所)

1	9:50-10:10	長期的時間経過を考慮した戦略的環境アセスメント実施手法の検討ー所沢市北秋津地区土地区画整理事業を事例としてー ○上地成就 (東京工業大学)、村山武彦 (早稲田大学)
2	10:10-10:30	電車の駆動方式に起因したストレスの特性に関する研究 ○浅田拓海 (中央大学)、石田眞二 (北海道工業大学)、武田超 (SMBC コンサルティング (株))、鹿島茂 (中央大学)
3	10:30-10:50	人工干潟における有機物分解特性に関する研究ー大阪南港野鳥園 北池ー ○藤田哲朗、大谷優里、矢持進 (大阪市立大学)

～休憩 10 分間～

研究報告：大会1日目 9月30日（金）11:00-12:00

セッション4「参加・学習」多目的ホール

座長：島津康男（名古屋大学名誉教授）

副座長：諏訪亜紀（国際連合大学高等研究所）

1	11:00-11:20	地域の野草の写真を掲載した下敷きによる児童の自然についての意識の変容に関する研究 ○田明男（大阪市立淀川小学校）
2	11:20-11:40	汚水処理施設整備における住民対応に関する研究 ○橋本豊（富士通エフ・アイ・ピー（株））、持木克之（埼玉県）、原科幸彦（東京工業大学）
3	11:40-12:00	中等教育の教科書における環境アセスメントの記述 出浦大誉（川口市立在家中学校）、○錦澤滋雄、原科幸彦（東京工業大学）

セッション5「自然・生態系（2）」集会室1

座長：林希一郎（名古屋大学）

副座長：矢代幸太郎（一般財団法人みなと総合研究財団）

1	11:00-11:20	「逗子市の良好な都市環境をつくる条例」施行後の植生変化について ○槇田健三郎、伊藤泰志、小倉礁（富士通エフ・アイ・ピー（株））、田中章（東京都市大学）
2	11:20-11:40	日本版生物多様性バンキング「里山バンキング」に関する研究 ○磯山知宏、田中章（東京都市大学）
3	11:40-12:00	HEP を用いたダム撤去に伴うハビタット評価の有効性と課題ー球磨川水系荒瀬ダム撤去事業をケーススタディとしてー ○松川隼也、八木裕人、田中章（東京都市大学）、新井聖司、海老原学、他（大日本コンサルタント（株））

セッション6「予測・評価手法（2）」集会室2

座長：沖山文敏（株式会社オオバ）

副座長：秋山貴（東京工業大学）

1	11:00-11:20	オーストラリアにおける生物多様性オフセットに関する定量評価手法に関する研究 ○野島良、田中章（東京都市大学）
2	11:20-11:40	「検針月」電気使用量の「暦月」電気使用量への変換ー変換方法の提案とその活用法ー ○金田千秋、加瀬豪、伊藤勝（江戸川大学）
3	11:40-12:00	複数の方法による都市単位での交通部門のエネルギー消費量の推計とその比較 ○森遼太郎（中央大学）

研究報告：大会2日目 10月1日（土） 9:50-10:50

セッション7「制度・政策」集会室1

座長：柳憲一郎（明治大学）

副座長：杉本卓也（東京工業大学）

1	9:50-10:10	環境アセスメント条例の改正が地域に与える影響の分析－東京都における大規模建築物を対象に－ ○村山武彦（早稲田大学）、池田大輔（東京都）
2	10:10-10:30	環境影響評価法第52条第2項に基づく適用除外を受けた発電設備設置事業に関する報告 ○田中猷、花岡千草（環境省）
3	10:30-10:50	持続可能な社会のための環境アセスメント ○原科幸彦（東京工業大学）

セッション8「予測・評価手法（3）」集会室2

座長：青山貞一（東京都市大学）

副座長：柴田裕希（滋賀県立大学）

1	9:50-10:10	台湾環境アセスにおける審査制度の特徴分析 ○李秉樺、原科幸彦（東京工業大学）、黄光輝（嘉南薬理科技大学）
2	10:10-10:30	計画段階の環境アセスメントにおける沿道大気汚染の予測手法の開発 ○市川陽一、松井佑太（龍谷大学）
3	10:30-10:50	流山市民の「検針月」電気使用量の「歴月」化用D/Bの試作とマッピング－ 流山市熱環境調査結果をベースとして－ ○葉山海太、金田千秋、伊藤勝（江戸川大学）

～休憩 10 分間～

研究報告：大会2日目 10月1日（土）11:00-12:20

セッション9「自然・生態系（3）」多目的ホール

座長：村山武彦（早稲田大学）

副座長：真田純子（パシフィックコンサルタンツ株式会社）

1	11:00-11:20	兵庫県におけるクマ対策住民学習会の効果測定 ○桜井良（フロリダ大学）、上田剛平（兵庫県但馬県民局）、ジャコブソン、K. スーザン（フロリダ大学）
2	11:20-11:40	GIS を用いた生物多様性ネットワーク評価の実施－富士通川崎工場を中心としたエリア評価を通じて－ ○小倉礁（富士通エフ・アイ・ピー（株））、田中章、久喜伸晃（東京都市大学）、榎田健三郎、伊藤泰志、他（富士通エフ・アイ・ピー（株））
3	11:40-12:00	「HSI カルテ」を用いた生物多様性評価手法「かんたん HEP」の開発 ○久喜伸晃、田中章（東京都市大学）、榎田健三郎、小倉礁、伊藤泰志（富士通エフ・アイ・ピー（株））
4	12:00-12:20	バイオ燃料の地域社会・生態系への影響について：パーム油生産に関わるステークホルダー意識に注目して ラケル・ペラナンダ、アレクサンドロス・ガスパラトス、ペール・ストロムバーグ、○諏訪亜紀、ジョゼ・オリベイラ（国際連合大学高等研究所）

セッション10「情報公開・コミュニケーション」集会室1

座長：田中充（法政大学）

副座長：錦澤滋雄（東京工業大学）

1	11:00-11:20	大学環境報告書の記載項目に関する分析 ○坂本将吾、鹿島茂（中央大学）
2	11:20-11:40	バイオ実験施設立地でのリスクコミュニケーションにおけるアセス適用の効果 ○田淵雄也、原科幸彦（東京工業大学）
3	11:40-12:00	東日本大震災被災3県のアセス図書を読み直す ○傘木宏夫（NPO 地域づくり工房）
4	12:00-12:20	環境影響評価制度における電子媒体による情報公開の課題 ○末次貴志子、北川陵太郎、相良剛、花岡千草（環境省）

セッション11「SEA」集会室2

座長：市川陽一（龍谷大学）

副座長：伊東英幸（名古屋大学）

1	11:00-11:20	戦略的環境影響評価の今後の方向についての一考察 ○花岡千草、高林祐也、末次貴志子、上田健二（環境省）
2	11:20-11:40	戦略環境アセスメントにおける環境面と経済・社会面の比較評価手法 ○堀井翔平、柴田裕希（滋賀県立大学）
3	11:40-12:00	英国におけるSEA と他の影響評価ツールの関係 ○多島良（東京工業大学・日本学術振興会）、Thomas B Fischer（University of Liverpool）

ポスターセッション：大会1日目 9月30日（金） 12:30-13:30

（3F ラウンジ）

ポスター発表リスト（順不同）※若手部門は優秀ポスター賞の候補となります。

1	ダム事業を巡る地域コンフリクトとアセスメントに関する考察 ○穴澤雄輔（早稲田大学大学院）	若手部門
2	英国のエネルギー政策に対する戦略的環境アセスメント制度 ○上地成就、錦澤滋雄、原科幸彦（東京工業大学）	若手部門
3	生物多様性保全のための生態系サービスの評価手法の一考察 ～環境への影響を人と自然とのつながりで考える～ ○太田貴大、林希一郎（名古屋大学）	若手部門
4	市民出資型太陽光発電事業における出資要因に関する研究 ○孔翔平、秋山貴（東京工業大学）	若手部門
5	福島原発事故に起因する放射生性物質による地域汚染の実態解明と汚染構造の把握 ○青山貞一（東京都市大学大学院）、鷹取敦、池田こみち（(株)環境総合研究所）	一般部門
6	環境アセスメントにおける事後調査の機能に関する研究 ○関根宏一、原科幸彦、錦澤滋雄（東京工業大学）	若手部門
7	HEP の概念を用いたアユの生息適性環境マップの作成 - 球磨川水系荒瀬ダムに着目して - ○八木裕人、松川隼也、田中章（東京都市大学）、新井聖司、海老原学、他（大日本コンサルタント(株)）	若手部門

一般公開シンポジウム：大会 1 日目 9 月 30 日（金） 13:45-16:30 （3F 多目的ホール）

「エネルギー政策選択に向けた戦略的環境アセスメント」

○趣旨

従来の環境アセスメントでは、原子力発電所の稼働による環境リスクについて問われてきた課題に対して、適切な対応はできなかった。その一つの帰結として発生した 2011 年 3 月 11 日の福島第一原発の事故は長期間にわたり、被災者に多重の被害と苦痛を与えることとなり、多くの教訓をもたらした。エネルギー政策という根本の判断においては、環境配慮が戦略的になされること、すなわち、意思決定過程の上位段階での環境配慮を行う方法として、戦略的環境アセスメントのあり方が問われる。そこで本シンポジウムでは、人間行為の適切な管理を担保するために、エネルギー政策選択のための戦略的環境アセスメントについて検討することを目的とする。エネルギー政策選択のために、どのような議論の場を設ける必要があるか、そこで必要となる情報は何か、情報公開のあり方も含めた多角的な議論を展開する。

尚、本シンポジウムテーマは、「環境アセスメント分野における震災への対応」として提言した 2011 年 6 月 28 日の学会有志の声明を踏まえたものである。

○プログラム

13:45 - 趣旨説明 原科幸彦（大会実行委員長／学会副会長・東京工業大学大学院教授）

14:00 - パネルディスカッション

コーディネーター：原科幸彦

パネリスト：寺西俊一（一橋大学教授）

池田こみち（環境総合研究所 副所長）

牛島聡美（環境弁護士、環境 NGO）

政野淳子（フリーランスライター）

諏訪亜紀（国連大学高等研究所 リサーチフェロー）

コメンテーター：青山貞一（大会実行副委員長・東京都市大学教授）

16:20 - 総括

学会 10 周年記念シンポジウム：大会 2 日目 10 月 1 日（土） 14:00-16:45

(3F 多目的ホール)

「アセス法のこれまでと、これから」

○趣旨

アセス改正法の論点に関する議論については、昨年度の大会シンポジウムのテーマとしてとりあげ、環境影響評価制度総合研究会における内容を踏まえて、総合討議がなされてきたところである。改正環境影響評価法は、本年 4 月 22 日に衆議院本会議において可決・成立し、同月 27 日に公布された。そこで、今回の環境アセスメント学会 10 周年記念シンポジウムでは、環境アセス法施行以降におけるこれまでの制度運用の実態などを鳥瞰し、「これまでのアセスと、これからのアセス」をテーマとして、「これまでのアセス」の部分を中心として島津康男初代会長から、また、「これからのアセス」の部分に法改正の根幹に携わった浅野直人前会長から、それぞれ基調講演していただくことにした。また、パネルディスカッションでは、改正に至る経緯と改正された法律内容、改正法に残された課題、現在進行中の基本的事項の技術的検討課題、さらに地方自治体の取り組みについて、法改正に携わった本学会の理事からなるパネリストを中心に問題提起していただき、それらに対して鹿島茂会長、原科幸彦副会長、奥真美理事からコメントをいただき、パネルを展開することを企画するものである。会員のみなさまの積極的な参加を希望します。

○プログラム

14:00-14:40 基調講演 島津康男（名古屋大学名誉教授）

「アセス 40 年目の危機をどう乗り越える」

浅野 直人（福岡大学教授）「環境影響評価法の改正について」

14:40-15:50 各パネリストからの報告とコメント

モデレーター：柳 憲一郎（学会副会長・明治大学法科大学院教授）

パネリスト：花岡千草（環境省環境影響評価課課長）「改正の経緯と改正点」

大塚 直（早稲田大学大学院教授）「改正法に残された課題」

田中 充（法政大学教授）「基本的事項に関する技術的検討課題」

榎 重善（横浜市環境創造局政策調整部環境影響評価課長）

「地方自治体の取り組み」

コメンテーター：鹿島 茂（学会会長・中央大学教授）

奥 真美（首都大学東京教授）

原科 幸彦（学会副会長・東京工業大学大学院教授）

16:00-16:45 パネルディスカッション

花岡千草、大塚 直、田中 充、榎 重善

「10周年記念出版ワークショップ」（企画担当：柳憲一郎）

○趣旨

本学会の創立10周年を記念して、環境アセスメントの今日の学問的、実務的知見を集大成することとし、学部・大学院や環境アセスメントの専門技術者をめざす者への模範的テキストとして編集するものである。

【対象とする読者】

環境科学系学部・大学院生を主体に、環境アセスメントの業務に携わる行政担当者、専門技術者、国際協力アセス業務担当者等を想定する。

【出版計画】

2012年度末までに編集出版する。

【基本方針】

大学・大学院での授業におけるテキストとして活用できるようにすることを基本方針とする。前期15回、後期15回の30講として消化できる内容をめざすが、シラバス案を示して、一つの方向性を持って講師が講義をできるように構成する。1講ごとに1～2セクションを利用して、およそ90分の講義で完結する内容を想定するが、柔軟に対処することにする。なお、学会員の意見を反映させるため、本大会において出版ワークショップを開催して意見を求める。

【編集執筆方針】

1項目当りA4で4～5頁まで(文字数1980×4～5頁)、45項目×4～5頁
印刷ページは最大250頁に抑える。価格単価2,800円程度

○プログラム

13:00 - 趣旨説明：浅野直人 編集長（福岡大学教授）

13:10 - 企画案の発表：柳憲一郎 副編集長（明治大学法科大学院教授）

13:30 - フロアからのコメント

回答者

- ・第1章担当 上杉哲郎（環境省）
- ・第2／3章担当 石川公敏
- ・第4章担当 沖山文敏（(株)オオバ）
- ・第5章担当 柳憲一郎（明治大学法科大学院教授）
- ・第6章担当 作本直行（日本貿易振興会）
- ・第7章担当 栗本洋二（(社)日本環境アセスメント協会）

13:40 - まとめ

「環境アセスメント関連図書の管理」(企画担当：浦郷昭子)

○趣旨

環境アセスメントには、方法書、準備書、意見書、見解書、評価書、審査会意見、市町村長・都道府県知事・環境省意見、モニタリング報告書など多くの文書が存在する。これらは、所管する自治体が一定期間縦覧する。その後所管自治体は、公文書等の管理に関する法律(平成二十一年七月一日法律第六十六号)に基づき保存期間及び保存期間の満了する日、保存期間満了後の取り扱いなどを定められることになる。現状ではこれらの取り扱いが所管する自治体によってばらばらであり、事業実施後も Web ですべての情報を公開している自治体もあれば、縦覧後すぐに非公開とする自治体もある。保管期間が数年と定められた場合は、保管期間後に図書が消失してしまう可能性がある。

環境アセスメント関連図書は、公害項目や自然環境項目の調査・予測・モニタリング結果が記録されているだけでなく、行政や事業者とのやり取りも記録されている重要な資料であり、多くの諸外国や国際機関では縦覧後も Web で自由に閲覧できるようになっている。これらの文書は、予測結果の妥当性の評価だけでなく、類似案件の影響予測の根拠資料として予測技術向上につながる。さらに、調査データを活用することで地域の自然環境保全に大きく寄与できる。意見書・見解書・知事意見などは、環境関連訴訟が発生した際の根拠資料となりうる。これらを考慮すると、環境アセスメント関連文書の一元管理と保管価値は高い。

本ワークショップでは、環境アセスメント関連図書の管理・情報公開の現状と問題点を明らかにし、今後どのような方向に進むべきかを議論する。

○プログラム

13:00 - 趣旨説明 傘木宏夫 (NPO地域づくり工房)

13:15- 話題提供
矢代幸太郎「環境アセスメントの調査データ、予測・評価結果の有効性」

13:30 - フロアからのコメント

13:40 - まとめ

大会会場のご案内：東京工業大学 すずかけ台キャンパス すずかけホール

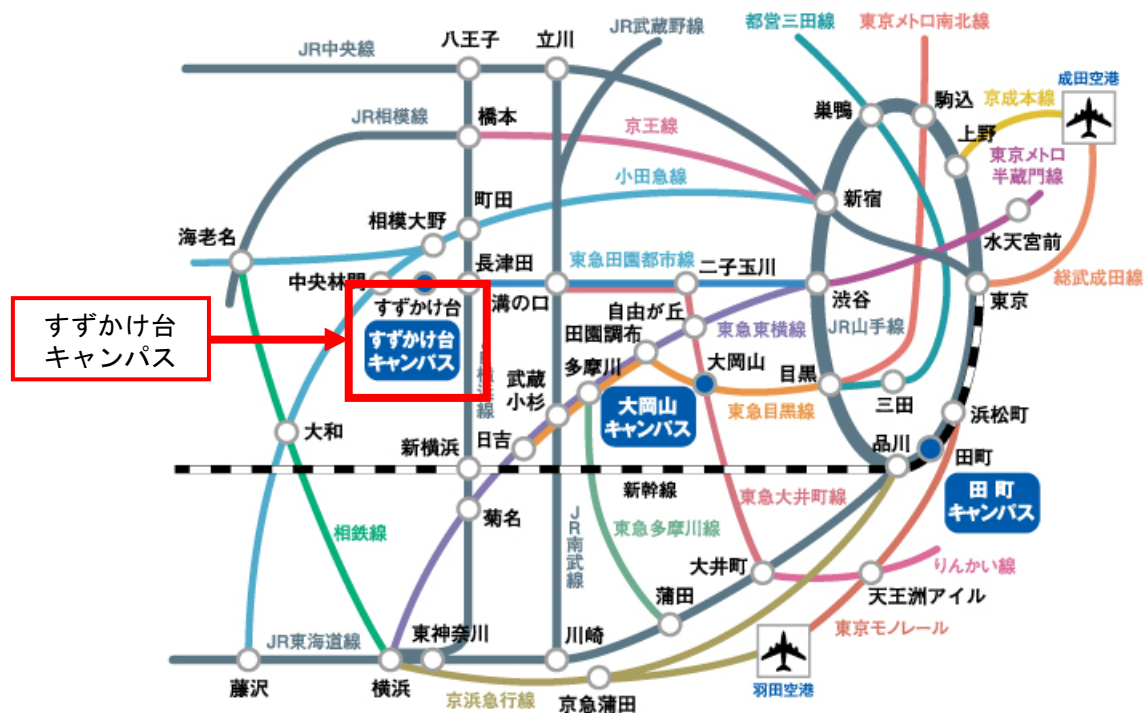
○東京工業大学すずかけ台キャンパスまでのアクセス

■ 鉄道

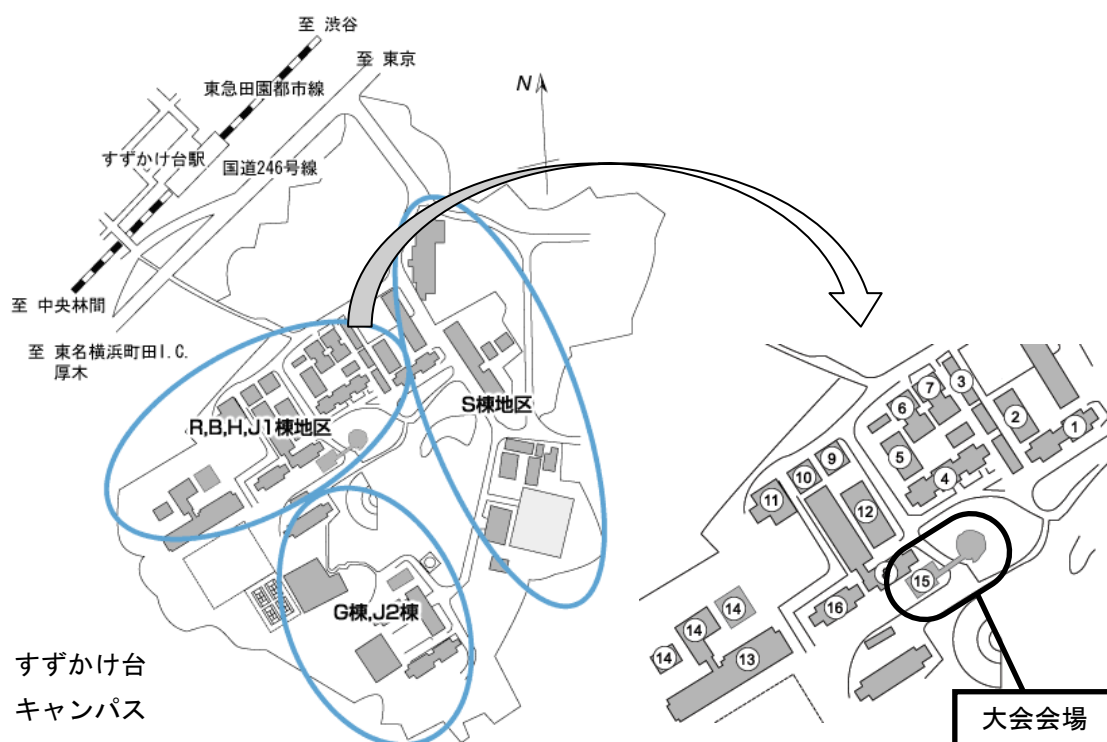
- (東京駅から)～JR 渋谷駅(山手線) ◇ 東急渋谷駅(田園都市線)～すずかけ台駅(約 60 分)
- (品川駅から)～JR 渋谷駅(山手線) ◇ 東急渋谷駅(田園都市線)～すずかけ台駅(約 50 分)
- (新横浜駅から)～JR 長津田駅(横浜線) ◇ 東急長津田駅(田園都市線)～すずかけ台駅(約 25 分)

■ 航空機

- (羽田国際空港から)～モノレール浜松町駅 ◇ JR 浜松町駅(山手線)～渋谷駅 ◇ 東急渋谷駅(田園都市線)～すずかけ台駅 (約 1 時間 30 分)
- (羽田国際空港から)～リムジンバス(新横浜行) ◇ JR 新横浜駅(横浜線)～長津田駅 ◇ 東急長津田駅(田園都市線)～すずかけ台駅 (約 1 時間 15 分)



○大会会場 すずかけホール



2011 年度環境アセスメント学会第 10 回大会事務局

東京工業大学大学院総合理工学研究科環境理工学創造専攻 原科研究室

担当：秋山 貴，杉本卓也，錦澤滋雄

〒226-8502 神奈川県横浜市緑区長津田町 4259-G5-9

TEL：045-924-5550

FAX：045-924-5551

E-mail：jsia2011@depe.titech.ac.jp